

		音 楽 研 究 会		部 会 記 録	
日時	平成30年 3月 7日(水) 15:30~16:45				
部会名	研修部 授業実践部会			主任	今泉 美保
参加数	17名	司会	今泉 美保	記録	須田 直之
研 修 内 容	「卒業式の歌について/今年度の反省・来年度に向けて」 提案：今泉 美保 場所：横浜市立桜岡小学校				
	<p>卒業式の歌について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮/伴奏 ・選曲のポイント ・指導計画 (いつごろから始めているか) ・発声について <p>○グループで話題になったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が指揮/伴奏をする、児童が指揮/伴奏、あるいは学校事情で地域の人が弾く。 ・声変わりによりオクターブ下で歌う子が増えて来たら、その子達を固めるようにする。 ・選曲については、担任と先生が決めたり、子どもの意見を聴いて決めたりする。 ・選曲のポイントは、子供が決めたり、担任が決めたり等。 ・呼びかけとのバランスを考えながら曲を決める。 ・発声については、日々の積み重ねで、今月の歌を大切にしながら進める。 ・児童が指揮/伴奏を行う場合、オーディションを行っている。 ・子ども達に意見を聴いて、決めている。「決めるのはこっただけども、意見は聴くよ」と言う。 ・男性教諭の声で、声変わりの子には「こうやって歌って」と範唱する。 <p>Q&A:</p> <p>Q: 音楽専科が話を振られたら、なんて言っていますか? A: 正直に答えつつ、褒めてモチベーションを保てるように答える。 また、呼びかけを引き合いにして答える。</p> <p>Q: アルトパートが不安な場合は、どうしたらいいのか。 A: 鍵盤ハーモニカで不安そうな子のそばに行って音を教えてあげる。 →その後、何度もなんども歌っていく</p> <p>○小倉先生から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式の歌は、担任の先生との連携が大事なこと。 ・選曲は、音楽部として「この中から選んでくれたら OK」という準備をしておく。 ・この時期に困ることは、頭声発声のイメージを持てるようにすること。 ・音を体や頭で、イメージを体に染み込ませることが必要。 ・リコーダーのピッチが不安なら、タオルで巻いておくのも OK。 <p>○今年度の反省</p> <p>→今後の要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森野先生の研修での、キーワードで書けるようになった。 ・色々な楽譜を使っていることの大切さがわかった。 ・音楽づくりのことがわかってよかった。 				

- ・音楽朝会とか、音楽集会を音楽として学校全体を育むことが学べたらいい。
- ・「風をきって」の時に、子供の立場になって考えられた。
- ・音楽朝会の時に、どうしたらいいのか。
- ・鑑賞の時に、有名なところを拡大して見せるだけで教材になる。
- ・市の公開授業での琴とリコーダーの学習が勉強になった。
- ・図形楽譜のカードが、やんちゃな男子にウケがよかった。
- ・「風をきって」の導入で話の内容を共有することで、食いつきが良かった。
導入の大切さがわかった。
- ・音楽の中でのグループ学習の仕方が学べるといい。
- ・自分が体験して行くと、自分に入って来た。

○役員より

- ・研修部は、いろいろなことができるいい部会。
- ・今年度の研修の中で学んだことが、日頃の授業に生きていた。
- ・役員が4人で手分けして模擬授業ができて、役員自身も勉強になった。